

熊本市駐車場適正配置検討委員会〈第一回〉

1. 日時および場所

令和元年6月28日(金) 午前10:00～午前11:30

2. 出席者

(1) 委員 (11名)

円山委員長、小葉委員、増永委員、坂本委員、西嶋委員、前田委員、
安田委員、富田委員、堀田委員、溝尻委員、原田委員(代理出席)

※委員長は委員の互選により就任

(2) 事務局 (7名)

都市整備景観課：中村課長、栗田副課長

都市デザイン室：酒井室長、徳田主査、山下主任技師、石川主任技師

道路整備課：永田技術主幹

3. 会議次第

(1) 開会

(2) 委員長の選出

(3) 議事

議題1 駐車場整備計画に掲げる基本方針等(案)

議題2 駐車場整備計画に関する調査手法(案)

議題3 委員会スケジュール(案)

(4) 閉会

4. 議事の概要

議題① 駐車場整備計画に掲げる基本方針等（案）

- 本市は自家用車に過度に依存した交通体系となっているため、今後の人口減少・超高齢社会を見据え、地域の交通特性に応じた都市交通の最適化（ベストミックス）の構築を進めており、中心市街地においては「人と公共交通を中心とした、歩いて暮らせるまちづくり」に向けて、駐車場の適正配置等に取り組むこととしている。
- これまで、附置義務条例の制定等により駐車場の量的整備を推進してきたところ、中心市街地への移動が車中心になったことなどにより、「公共交通の衰退、交通渋滞・歩行環境悪化、中心市街地の活力低下」など、様々な課題が発生している。
- このような状況を踏まえ、これまでの駐車場の量的整備を見直し、量・位置・質の適正化を図るため、まずは、駐車場整備計画を策定し、駐車場のあり方（基本方針、目標量及び目標年次、施策など）を定める必要がある。
- この基本方針をもとに、附置義務条例の見直しを軸とした施策案を推進することで、「公共交通の再生、交通円滑化・歩行環境向上、中心市街地の活性化」を目指す。

【議題①に対する質疑応答】

[現状・課題の認識について]

（坂本委員）

- 自家用車に過度に依存しているとあるが、どの程度から過度と判断しているのか。
- 駐車場に起因する課題としては交通渋滞があげられると思う。その際に、最近の交通量データなどを用いて課題を示すと、対策の方法が明確にできるのではないか。
- 駐車場の増加と中心市街地の活力低下の関係を示すことはできるか。

（事務局）

- 他都市と比較して本市の自動車分担率は高いと認識している。次回委員会でお示ししたい。

（円山委員長）

- 最近のデータでいうと県警の交通量調査データなど HP で公表されているものもあるので、必要であれば活用して議論したい。
- また、中心市街地の活力という歩行者数という観点もあるかと思う。

（西嶋委員）

- 自動運転の普及などによって、今後駐車場を取り巻く環境は大きく変わると考えられるため、中長期的な視点での検討が必要。

（事務局）

- 自動運転なども含め中長期での検討をおこなうことは大事な視点であると認識している。今回の計画を策定するだけでなく、時代の変化に応じて適宜計画を見直し、施策に反映したいと考えている。
-

(坂本委員)

- 中長期にみると様々な課題はあるが、当面の課題解決としては、既に平面駐車場等で空いたスペースの活用を誘導していくことの方が有効なのではないか。

(事務局)

- 既存駐車場の活用という観点は重要と考えている。関連するものとしては、荷捌き場として既存のコインパーキングを活用することなどを考えている。

(円山委員長)

- 事務局が示している施策も、基本的には当面できることから進めていくスタンスであると理解している。短期的な対策はしっかりとしつつ、長期的な施策も視野に入れながらやっていくということかと思う。

(西嶋委員)

- 都市のスポンジ化という課題に対しては、平面駐車場だけではなく、低未利用地の転換という広い視点で問題意識を持って取り組む必要があると思う。

[基本方針・施策について]

(安田委員)

- 熊本地震以降、家屋が壊れて一時的に駐車場となっているところが多くある。今後、駐車場に建物を建てる場合に、規制や何らかの支援などがあるのか。

(事務局)

- 建物を建てることを制限することはできないと考えている。むしろ、駐車場からの土地利用転換を促進したいと考えており、例えば固定資産税5年分を軽減することなどから、建物を建てるきっかけをつくる必要があると考えている。

(前田委員)

- 観光バスの一時乗降場の設置や、自動車で来訪する観光客にわかりやすい駐車場案内や公共交通利用促進などのソフト対策も施策に位置付けて欲しい。

(事務局)

- まちなかの不特定多数の箇所で乗降がなされている現状を踏まえると、一時乗降場の設置は必要であると考えている。ソフト対策についても、庁内の交通部局や観光部局とのWG等を通じて議論を深めていきたい。

(西嶋委員)

- 熊本空港も国際線を強化することから、これからは海外の旅行客が増えてくる。交流人口の拡大は経済的な活性化に対して重要な要素となる。

(円山委員長)

- 海外からの旅行客がこれから増えたときに、鉄道やレンタカー等の移動手段であったり、滞在しやすい環境を整備することは重要だと思う。
-

(増永委員)

- 共通駐車券制度の導入など、実現に向けて課題の多い施策もあるが、駐車場事業者や利用者にとっても非常にいい制度なので、是非取り組んでいただきたい。

(事務局)

- 共通駐車券制度については、どこが主体となって取り組むのかなど色々と課題はあるが、交通円滑化や歩きやすく安全なまちなかの形成につながると考えている。具体的に検討を進めたい。

[関係事業者としての意見]

(増永委員)

- もともと店舗等だったところから、平面駐車場となっている場所が増えている実感がある。まちなかに来る目的となる店舗等がなければ、結局駐車場は使われなくなる。目的地がなくなり、駐車場の数だけ増えて、活力が低下していくことを懸念している。
- 駐車場事業者として、いまの駐車場を有効活用する観点から貢献できたらと考えている。

(堀田委員)

- バス事業者としては、この委員会で公共交通の再生やCO2の削減にどう取り組むのかについて理解を深めたい。

(円山委員長)

- 委員会では最終的には公共交通の再生にもつなげていきたいと考えており、CO2の削減についても間接的につながってゆくと理解している。

議題② 駐車場整備計画に関する調査手法（案）

- 調査区域は、現駐車場整備地区に加え、都市機能の集積が見込まれ、かつ広域交通拠点などが立地する熊本駅周辺等を基本に行う。
- 調査内容は、駐車場の利用実態等調査とあわせて、利用者のニーズ調査等についても並行して行う。なお、実態調査の時期は、年度内の計画（素案）策定を目指していることから、再開発開業前を予定している。
- また、調査には客観的・専門的分析が必要となることから、円山委員長や小葉委員と相談しながら進めたい。ニーズ調査等の内容に応じて、関係する各団体には協力をお願いしたい。

【議題②に対する質疑応答】

〔調査対象地、スケジュール等について〕

（増永委員）

- 10～20年先の計画を立てようとしているのに、桜町再開発の前に急いで調査を行う必要があるのか。
- 再開発のインパクトは大きく車の流れも大きく変わると思う。また、提案の調査対象地区よりも広域でどういう動きになっていくのかも検討する必要があるのではないか。

（事務局）

- 2020年度中頃の駐車場整備計画策定を目指し、なるべく早く具体の施策検討に着手したいと考えているため、現在のスケジュールとなっている。
- 調査対象地区については、いただいた意見を踏まえて修正したものを考える。

（円山委員長）

- 10～20年先を見据えた計画を立てようとしているので、調査スケジュール等については少し検討いただけたらと思う。
- 実態調査については、駐車場事業者からの利用データなどを提供いただけると費用もあまりかからずに、色々な分析ができるのではないかと個人的には思う。

（増永委員）

- 駐車場の利用実態データについては、営業上の重要なデータもあるので、可能な範囲で提供できればと思っている。

〔アンケート調査について〕

（溝尻委員）

- 最近、コインパーキングが街中に増えており、それに伴い裏路地などで車の移動が増え、小さな子供を連れての移動がすごく危険だと感じている。高齢者や障害者も同じことを感じていると思うので、色々な立場の方の意見を細やかに聞き取ってほしい。

(西嶋委員)

- 平面駐車場地権者の意向調査は、土地利用転換を進めるヒントを得る上でも重要と思う。私も協力したい。

(円山委員長)

- 高齢者や子連れの方々の意見なども意識調査の形で取り入れたいと思う。
- 調査を意味のあるものにするためにも皆様方からのご協力もいただきたい。

議題③ 委員会等スケジュール（案）

- 駐車場整備計画の策定について
 - ・ 第二回委員会（令和1年12月頃予定）：駐車場整備計画（たたき台）の提示
 - ・ 第三回委員会（令和2年3月頃予定）：駐車場整備計画（素案）の策定
- 駐車場整備地区の区域見直しについては、今年度中の都市計画審議会に諮る予定。

【議題③に対する質疑応答】

（坂本委員）

- 観光バスの乗降場といった喫緊の問題については、その他の検討に時間を要する施策より先に実施することはできないのか。

（事務局）

- 決して駐車場整備計画がなければできない検討だとは考えておらず、同時並行で具体的な検討を進めたいと思う。